

2010年度

科目名	教育行政学		
担当教員	開沼 太郎		
配当	教福3	コード	24390
開期	後期	講時	火曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	教育行政の制度や組織、実態の検討を通して、今日の教育現象を取り巻くメカニズムを理解する。		
目的と概要	<p>1、「教育行政学」とは何か、教育行政の役割や課題について、主に制度的側面や法規的側面から検討する。</p> <p>2、「生涯学習体系」と称される現在の社会体系下で、学校教育や社会教育がどのような位置づけで条件整備されてきたのか、また「中央」と「地方」、「公」と「私」の関係がそれぞれどうなっているのか、法理論と実態の両面から把握する。</p> <p>3、今日積極的に進められている「教育改革」の様々な試みや、教育行財政政策の動向を理解する。</p>		
成績評価法	試験:50%程度、平常点(出席時の小レポート・小テスト)もしくは課題レポート:50%程度を目安に総合評価を実施する。		
テキスト	高見茂・開沼太郎編『教育法規スタートアップー教育行政・政策入門』昭和堂、2008年		
参考書	講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
(01) ガイダンス	本講義の概要について		
(02) 教育行政の実際	現在展開される教育実践と教育行政との関係について		
(03) 「教育行政学」とは	研究の領域、成立、意義、対象、方法 など		
(04) 教育行政の史的展開 ①	戦前までの教育行政の理念と特色		
(05) 教育行政の史的展開 ②	戦後改革期から55年体制期の教育行政の理念と特色		
(06) 教育行政の史的展開 ③	現在の教育行政改革の流れと特徴について		
(07) 教育法制と教育行政 ①	教育の基本的原理に関する法規		
(08) 教育法制と教育行政 ②	学校教育の運営や管理に関する法規		
(09) 教育法制と教育行政 ③	教職員の身分や地位に関する法規		
(10) 「生涯学習」と教育行政	生涯学習体系の制度的背景と学校教育・社会教育の関係性		
(11) 社会の変化への対応と教育行政 ①	「少子高齢化社会」と教育行財政改革の動向		
(12) 社会の変化への対応と教育行政 ②	「国際化社会」と教育行財政改革の動向		
(13) 社会の変化への対応と教育行政 ③	「情報化社会」と教育行財政改革の動向		
(14) 「教育行政学」の実際	研究動向のレビュー、意見交換 など		
(15) まとめ	本講義のまとめ		